

ピオラ川崎施設利用料金

令和6年6月

ユニット型介護福祉施設 サービス費(Ⅰ)	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
	670 単位	740 単位	815 単位	886 単位	955 単位	
看護体制強化加算(Ⅰ)口	4 単位/1日					
看護体制加算(Ⅱ)口	8 単位/1日					
夜勤職員配置加算(Ⅳ)口	21 単位/1日					
精神科医療養指導加算	5 単位/1日					
日常生活継続支援加算(Ⅱ)	46 単位/1日					
栄養マネジメント強化加算	11 単位/1日					
単位数小計	765 単位	835 単位	910 単位	981 単位	1050 単位	
職員等処遇改善加算(Ⅰ)	107 単位/1日	117 単位/1日	127 単位/1日	137 単位/1日	147 単位/1日	
単位数総合計	872 単位/1日	952 単位/1日	1037 単位/1日	1118 単位/1日	1197 単位/1日	
サービス利用にかか る自己負担額①	1割負担	935 円	1,020 円	1,112 円	1,199 円	1,283 円
	2割負担	1,870 円	2,041 円	2,224 円	2,398 円	2,566 円
	3割負担	2,805 円	3,061 円	3,336 円	3,597 円	3,850 円
科学的介護推進体制加算(Ⅱ)②	50単位/(約54円)1ヶ月	50単位/(約54円)1ヶ月	50単位/(約54円)1ヶ月	50単位/(約54円)1ヶ月	50単位/(約54円)1ヶ月	

※地域加算(×10、72)が含まれます。※加算項目の増減により、料金は変わります。

	対象者	食費③	居住費④
第一段階	・世帯の全員(世帯を分離している配偶者を含む。)が市区町村住民税を課税されていない方で、老齢福祉年金を受給されている方 ・生活保護等を受給されている方 ・預貯金が一定額以下の方	300 円	820 円
第二段階	・公的年金等収入金額(非課税年金含む)とその他の合計所得金額が80万円以下の方 ・預貯金が一定額以下の方	390 円	820 円
第三段階 ①	・公的年金等収入金額(非課税年金含む)とその他の合計所得金額が80万円超120万円以下の方 ・預貯金が一定額以下の方	650 円	1,310 円
第三段階 ②	・公的年金等収入金額(非課税年金含む)とその他の合計所得金額が120万円超の方 ・預貯金が一定額以下の方	1360 円	1,310 円
第四段階	上記以外の方	1,870 円	2,600 円

※居住費は入院中もいただきます。その場合は、入院後6日間(当該入院が月をまたがる場合は最大12日間)

上記の区分に従い通常の負担限度額をいただきます。7日目以降は、負担限度額がある方は、

1日2,006円、負担限度額がない方は、1日2,600円の居住費をご負担いただきます。

1日に掛かる自己負担額合計(①+③+④) (※食費内訳:朝食350円 昼食870円 夕食650円)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
第1段階	2,055 円	2,140 円	2,232 円	2,319 円	2,403 円
第2段階	2,145 円	2,230 円	2,322 円	2,409 円	2,493 円
第3段階①	2,895 円	2,980 円	3,072 円	3,159 円	3,243 円
第3段階②	3,605 円	3,690 円	3,782 円	3,869 円	3,953 円
第4段階: 1割負担	5,405 円	5,490 円	5,582 円	5,669 円	5,753 円
第4段階: 2割負担	6,340 円	6,511 円	6,694 円	6,868 円	7,036 円
第4段階: 3割負担	7,275 円	7,531 円	7,806 円	8,067 円	8,320 円

1ヶ月にかかる費用(①+②+③+④) ※②は科学的介護推進体制加算(Ⅱ)の加算分です。

30日	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
第1段階	61,701 円	64,267 円	67,017 円	69,620 円	72,150 円
第2段階	64,401 円	66,967 円	69,717 円	72,320 円	74,850 円
第3段階①	86,901 円	89,467 円	92,217 円	94,820 円	97,350 円
第3段階②	108,201 円	110,767 円	113,517 円	116,120 円	118,650 円
第4段階: 1割負担	162,201 円	164,767 円	167,517 円	170,120 円	172,650 円
第4段階: 2割負担	190,301 円	195,434 円	200,934 円	206,140 円	211,199 円
第4段階: 3割負担	218,401 円	226,100 円	234,349 円	242,158 円	249,748 円

【 加算に関して 】

※入院又は外泊時の費用について(該当者のみ)

要介護状態区分に関わらず、入院や外泊をした場合は、1ヶ月に6日間を限度として1日につき246単位掛ります。また、月をまたがる場合は最大で連続12日間を上限とします。

※初期加算費用について

施設での生活に慣れるために様々な支援を必要とすることから、入所日から30日間に限り、1日につき30単位掛ります。また、30日を

※安全対策体制加算

外部の研修を受けた担当者が配置され、施設内に安全対策部門を設置し、組織的に安全対策を実施する体制が整備されていること。入所時に1回 20単位掛ります。

※療養食加算について(該当者のみ)

医師の発行する食事箋に基づく糖尿病食、腎臓病食、肝臓病食、胃潰瘍食、貧血食、膵臓病食、脂質異常病食、痛風食及び特別な検査食により食事の提供が管理栄養士によって管理されている場合は、1日に3食を限度として、1食を1回として1回6単位掛ります。

※日常生活継続支援加算(Ⅱ)

介護福祉士が常勤換算で利用者6人に対して1人以上の配置、要介護4、5の認定者の新規入所が70%

以上で認知症日常生活自立度Ⅲ以上の入所者が65%以上により、1日につき46単位掛ります。

※栄養マネジメント強化加算

管理栄養士による栄養マネジメントや低栄養状態の改善に向けた取組を実施し、入所者の栄養状態の改善、維持に努めた場合を評価する加算です。1日につき11単位掛ります。

退所時栄養情報連携加算

居宅、他の介護保険施設、医療機関等に退所する方の栄養管理に関する情報連携を行う事を評価する加算です。1回につき70単位掛ります。

退所時情報提供加算

医療機関へ退所した際、生活支援上の留意点等の情報提供を行う事を評価する加算です。

1回につき250単位掛ります。

生産性向上推進体制加算

介護ロボットやICT等の導入後の継続的なテクノロジー活用を支援するため、見守り機器等のテクノロジーを導入し、業務改善を継続的に行うとともに、効果に関するデータ提出を行うことを評価する加算です。

生産性向上推進体制加算(Ⅰ)1回につき100単位掛ります。生産性向上推進体制加算(Ⅱ)1回につき10単位掛ります。

※看護体制加算Ⅰ

常勤看護師が1名以上配置により、1日4単位掛ります。

※看護体制加算Ⅱ

看護職員との連携によりにより、24時間連絡できる体制を確保することにより、1日8単位掛ります。

※精神科医療養加算について

精神科医師による月2回以上の療養指導が行われています。1日5単位掛ります。

※夜勤職員配置加算Ⅳ

介護が困難な者に対する質の高いケアを実施する観点から、夜勤帯に看護職員を国が定めた基準に1を加えた数以上配置している場合に1日につき21単位掛ります。

※食費について

第4段階に該当する入居者の食事についての内訳は、朝食350円、昼食870円、夕食650円と分かれています。

※経口維持加算(Ⅰ)(該当者のみ)

経口摂取する方で誤嚥の危険性が認められる入所者に対して、経口維持計画書を作成し、各専門職が共同して、栄養管理を行った場合に、1ヶ月につき400単位掛ります。

※経口維持加算(Ⅱ)(該当者のみ)

経口維持加算(Ⅰ)に、歯科医師又は歯科衛生士が計画に参加し、共同して栄養管理を行った場合に、1ヶ月につき100単位掛ります。(Ⅱ)の該当者は(Ⅰ)の算定が前提となります。

※看取り介護加算(Ⅰ)

医師が一般に認められている医学的知見に基づき、回復の見込みがないと判断し、家族が説明を受けた上で同意し、施設内で看取った場合には、死亡日45日前～31日前に1日に72単位、30日前～4日前に1日144単位、死亡日前々日、前日に1日680単位、死亡日に1日1280単位掛ります。

※生活機能向上連携加算

外部のリハビリテーション専門職が介護老人福祉施設を訪問し、施設職員と共同で、アセスメントを行い個別機能訓練計画書を作成し、当該計画に基づき、計画的に機能訓練を実施した場合に、1ヵ月200単位掛ります。

※職員等処遇改善加算(Ⅰ)

職員等の賃金の改善のためのお金を支給することを目的に改定をした加算です。所定単位数×14%の単位数が掛ります。

※科学的介護推進体制加算(Ⅱ)

科学的介護情報システムへのデータ提出とフィードバックの活用により、PDCAサイクルの推進とケアの質の向上を図る取り組みを評価する加算です。1ヶ月50単位掛ります。